

農山村地域資源

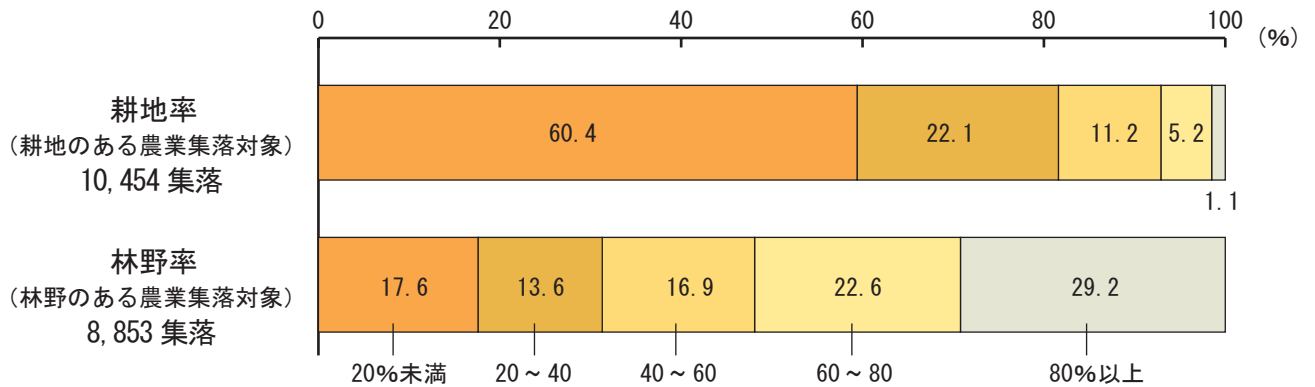
耕地率 20%未満の農業集落が 6 割

近畿における農業集落数は、10,849 集落となっています。

このうち、耕地のある農業集落（10,454）の耕地率別集落数割合をみると耕地率 20%未満の集落が約6割を占めています。

また、林野のある農業集落（8,853）の林野率別農業集落数割合をみると林野率 80%以上の集落が約3割で最も多くなっています。

● 耕地率別及び林野率別農業集落数割合 ●



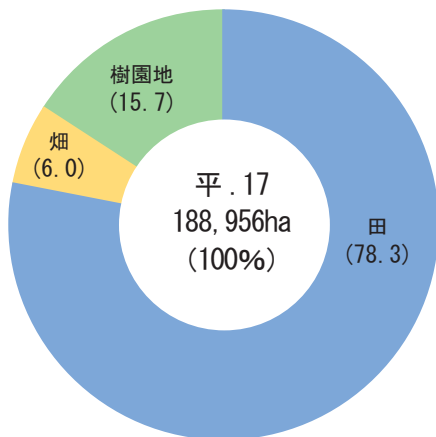
注：耕地率とは、総土地面積に占める耕地面積の割合をいいます。
林野率とは、総土地面積に占める林野面積の割合をいいます。

農振農用地内耕地面積は 1 8 万 9 千 ha

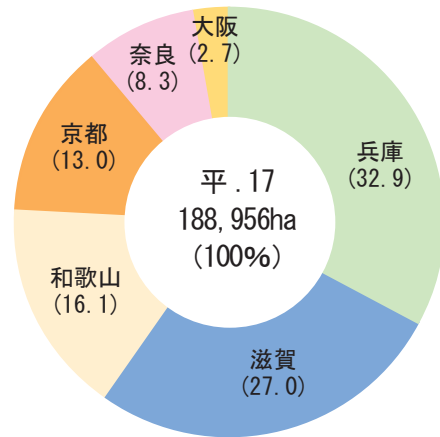
近畿における農振農用地内耕地面積は 18 万 9 千 ha となっています。

これを耕地種類別でみると田が 14 万 8 千 ha で全体の約8割を占めています。

● 耕地種類別農振農用地内耕地面積割合 ●



● 農振農用地内耕地面積の府県別割合 ●



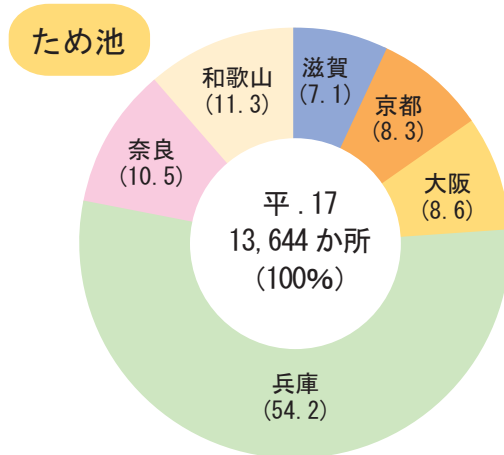
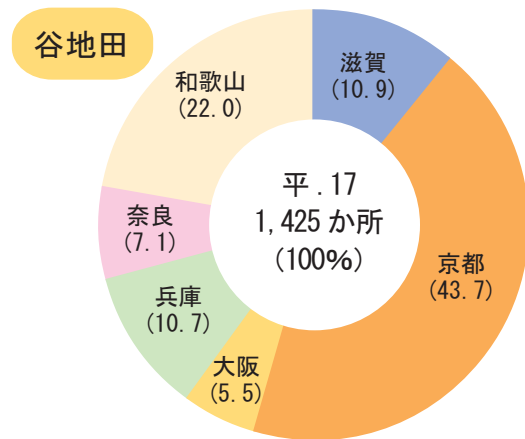
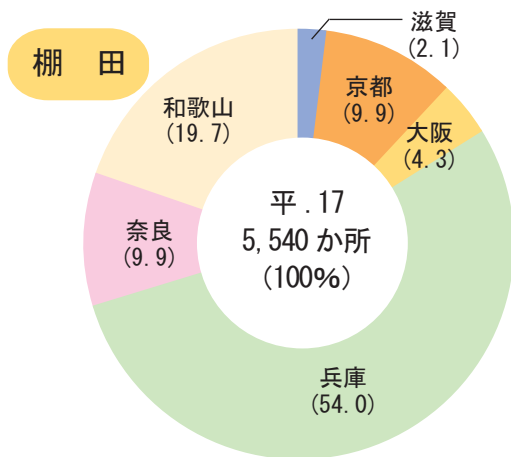
農振農用地とは？

農業振興地域の整備に関する法律（略称：農振法）第 8 条第 1 項に基づき、市町村が農業振興地域整備計画を定めた区域のうち、第 8 条第 2 項第 1 号に基づく農用地等として利用すべき土地の区域の指定のある区域をいいます。

棚田、ため池の約5割は兵庫県

棚田、谷地田、ため池のか所数は、棚田5,540、谷地田1,425、ため池1万3,644か所となっています。府県別には、棚田、ため池は兵庫県が約5割、谷地田は京都府が約4割を占めています。また、棚田及び谷地田の1か所当たりの面積は、滋賀県が最も大きくなっています。

● 棚田、谷地田、ため池の府県別か所数割合 ●



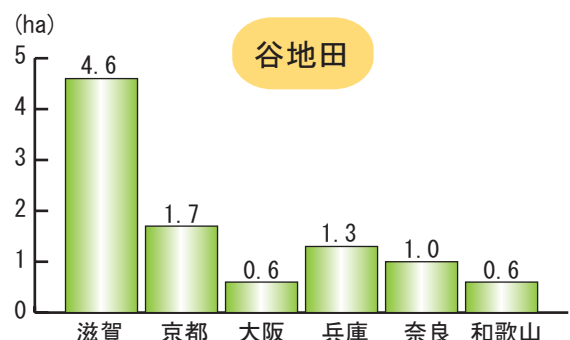
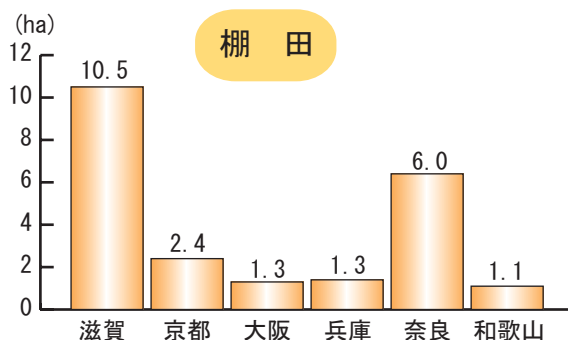
用語解説

棚田…傾斜地に等高線に沿って作られた水田であり、田面が水平で棚状に見えることからこう呼ばれています。ほ場の形状は問いません。

谷地田…台地にはさまれた細長い谷にある水田をいいます。ほ場の形状は問いません。

ため池…かんがい用水をためておく人工または天然の池をいいます。受益面積が2ha以上のものについて把握しています。

● 棚田及び谷地田の府県別1か所当たりの面積 ●

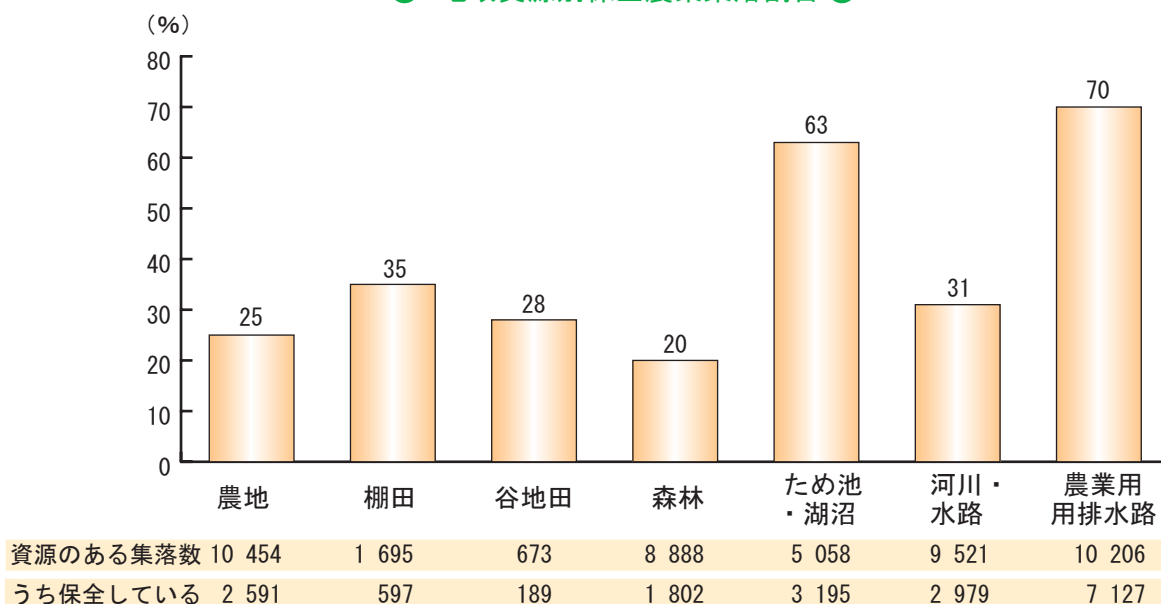


農業用排水路を保全している農業集落は7割

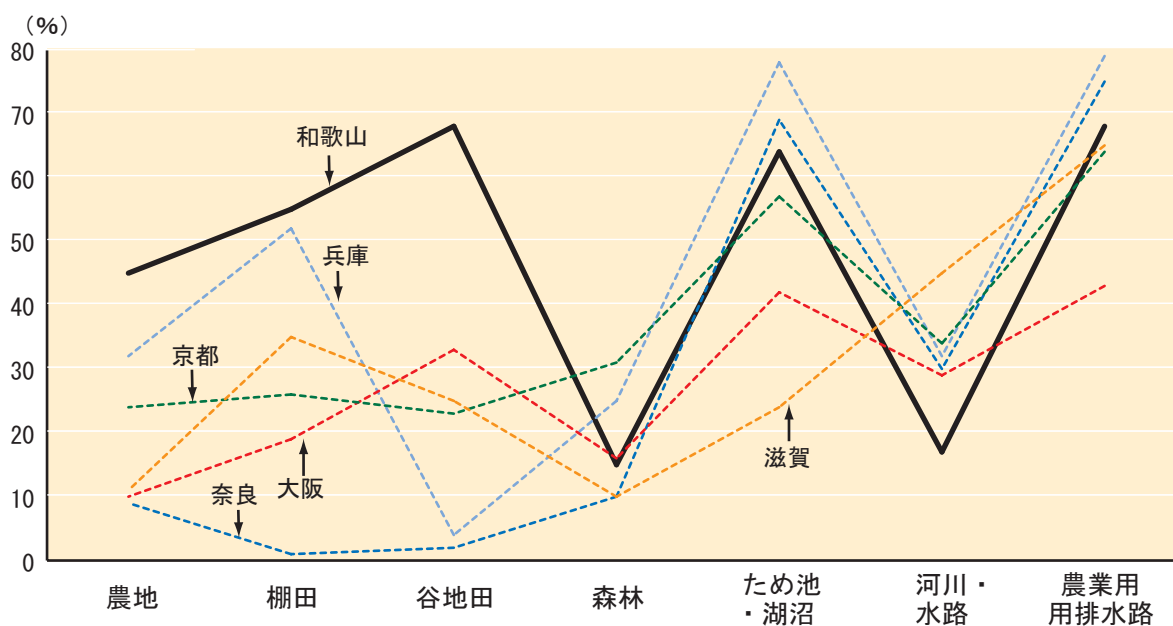
地域資源のある農業集落について、その資源別の保全割合をみると、農業用排水路が7割と最も高く、次いで、ため池・湖沼、棚田の順になっています。

また、府県別には、和歌山県が4資源（棚田、谷地田、ため池・湖沼、農業用排水路）について5割以上の農業集落で保全が行われています。

● 地域資源別保全農業集落割合 ●



● 府県別地域資源別保全農業集落割合 ●

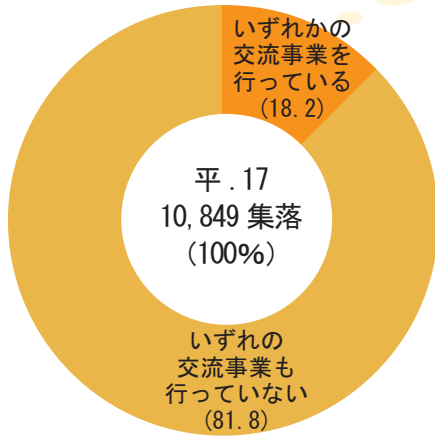


交流事業に取り組んでいる農業集落は約2割

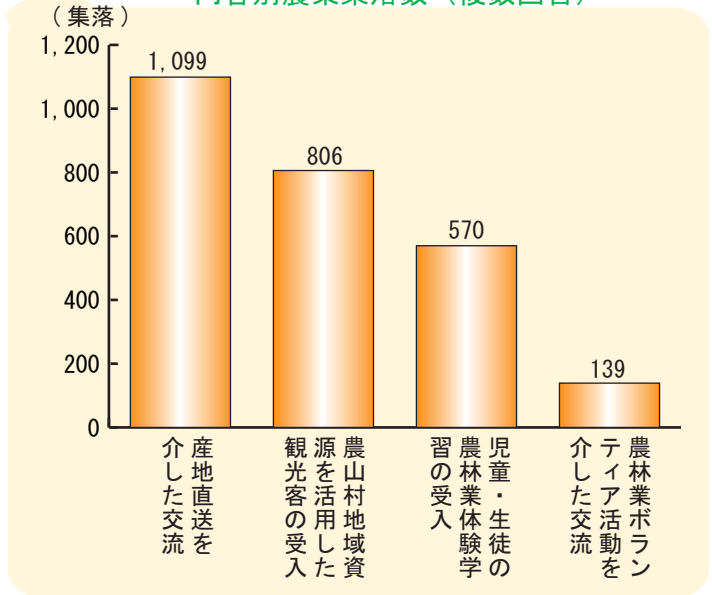
地域資源を活用したいずれかの交流事業を行っている農業集落数は 1,972 集落で、全体の 18%となっています。

取り組んでいる交流事業を内容別にみると、「産地直送を介した交流」が最も多く 1,099 集落で、次いで、「農山村地域資源を活用した観光客の受入」が 806 集落となっています。

● 地域資源を活用した交流の取組農業集落数割合



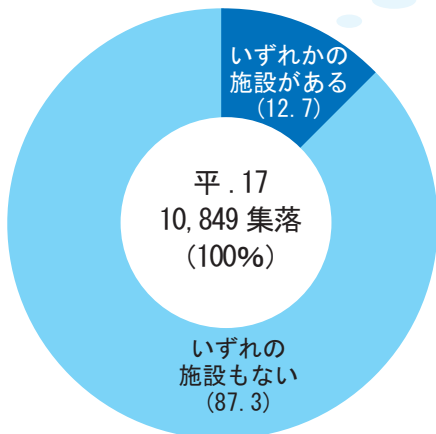
● 取り組んでいる交流事業の内容別農業集落数 (複数回答)



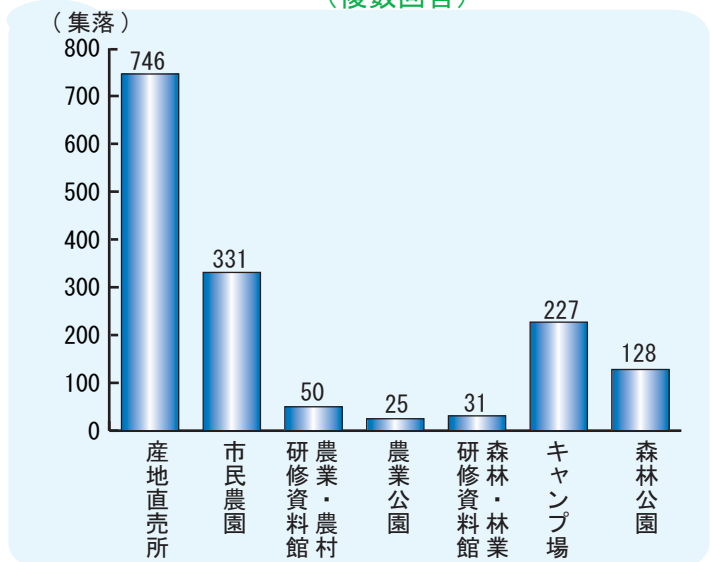
地域資源活用施設のある農業集落は13%

地域資源を活用したいずれかの施設がある農業集落数は 1,374 集落で、全体の 13%となっています。主な施設のある農業集落をみると、産地直売所が 746 集落、市民農園が 331 集落となっています。

● 地域資源を活用した施設がある農業集落数割合



● 地域資源を活用した施設数 (複数回答)

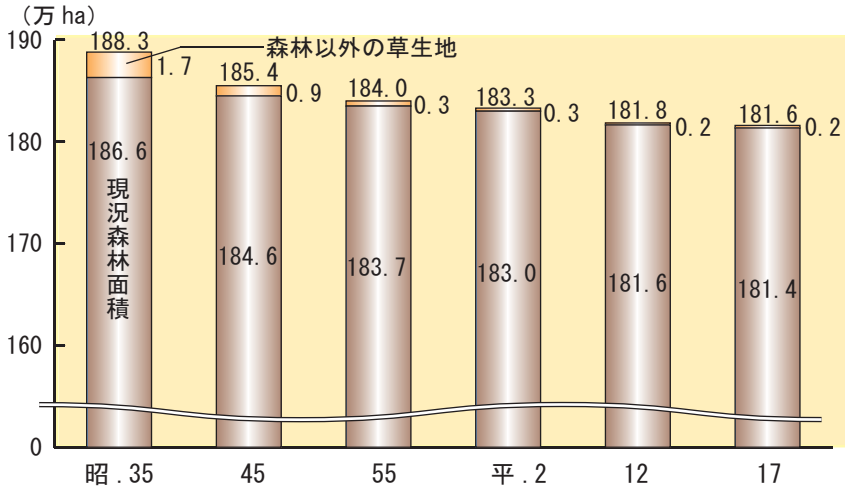


林 野

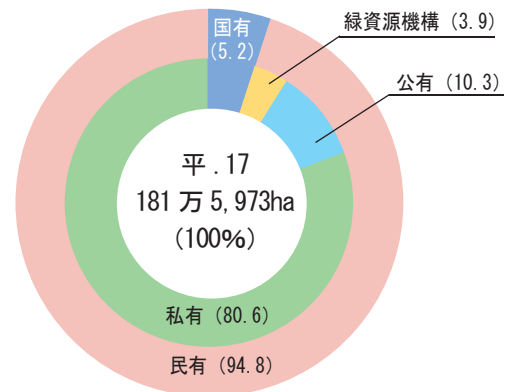
林野面積は 1 8 1 万 6 千 ha

近畿における林野面積は181万6千haで、このうち、現況森林面積は181万4千haとなっています。これを5年前と比べてみると、それぞれ2,437ha(0.1%)、2,953ha(0.2%)減少しています。

● 林野面積の推移 ●



● 所有形態別林野面積 ●



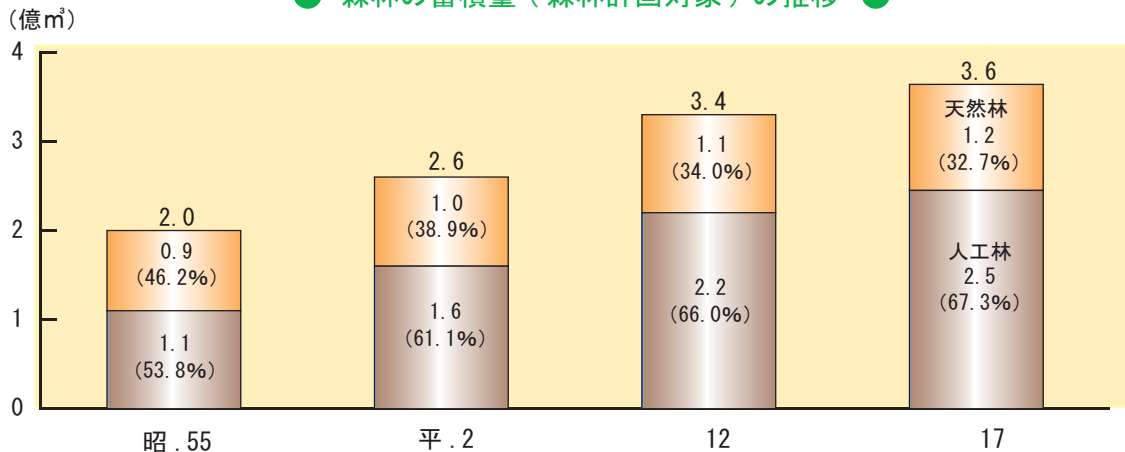
林野面積とは？

「現況森林面積」に「森林以外の草生地（野生地）」の面積を加えた面積をいいます。
 現況森林面積……調査期日（平成17年2月1日）現在の森林面積をいいます。
 森林以外の草生地…森林以外の土地で野草、かん木類が繁茂している土地をいいます。

総蓄積量は 3 億 6 千 m³

森林蓄積量（森林計画対象）は3億6千m³で、5年前に比べて8%増加しています。これを、人工林・天然林別にみると、人工林は4%、天然林は10%増加しています。

● 森林の蓄積量（森林計画対象）の推移 ●



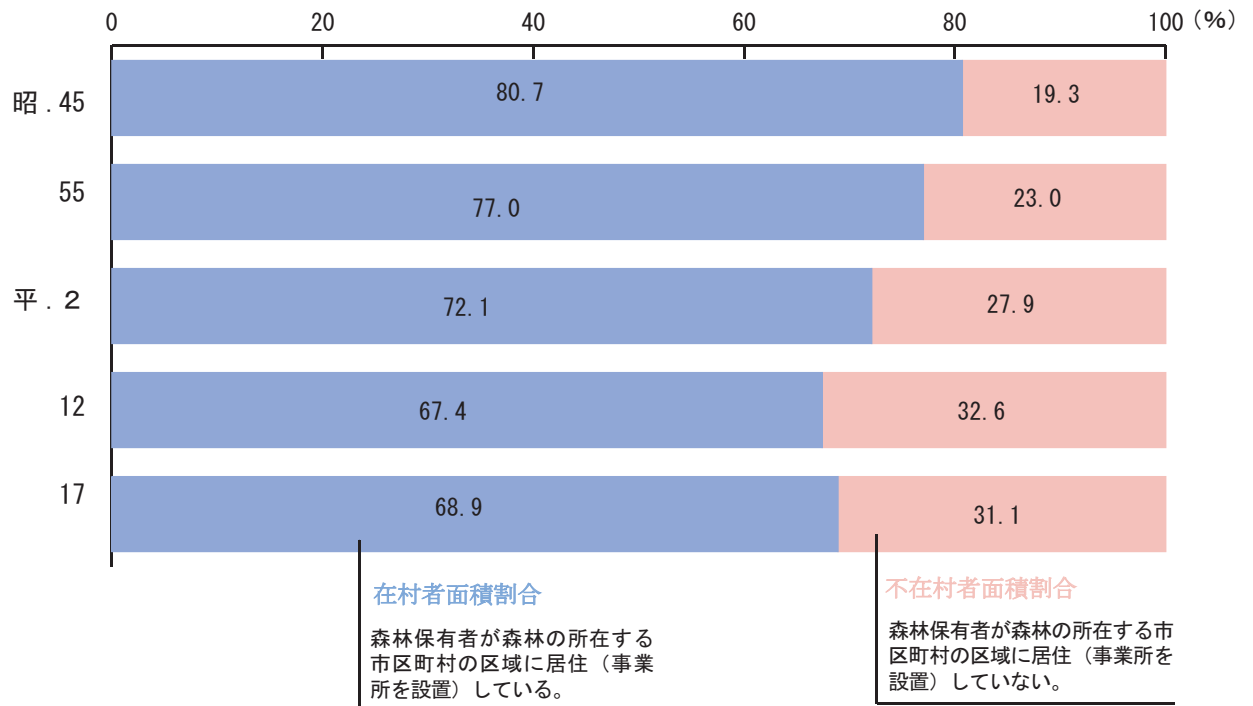
注：森林蓄積量とは、森林計画対象の森林における立木の材積量をいいます。

不在村者の私有林面積割合は約3割

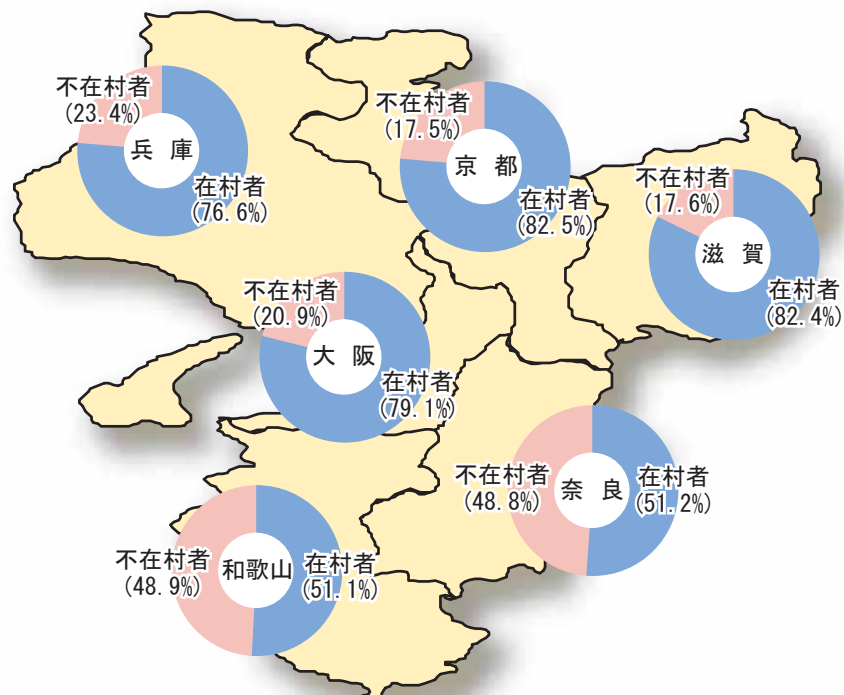
私有林の在村者、不在村者の割合をみると、在村者の面積割合は69%、不在村者の面積割合は31%で、不在村者の面積割合は5年前に比べて1.5ポイント低下しています。

府県別には、奈良県、和歌山県で不在村者の割合が約5割と高くなっています。

● 在村者・不在村者別私有林面積割合の推移 ●



● 府県別在村者・不在村者別私有林面積割合 ●



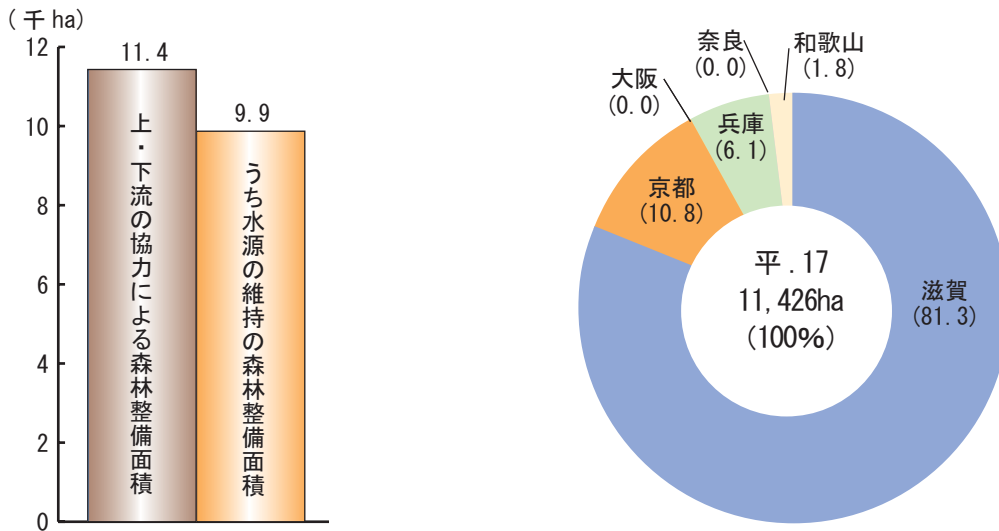
上・下流の協力による森林整備面積は1万1千ha

上・下流の協力による森林整備面積は11,426haとなっています。これを整備の目的別にみると水源の維持が9,866haで、全体の86%を占めています。

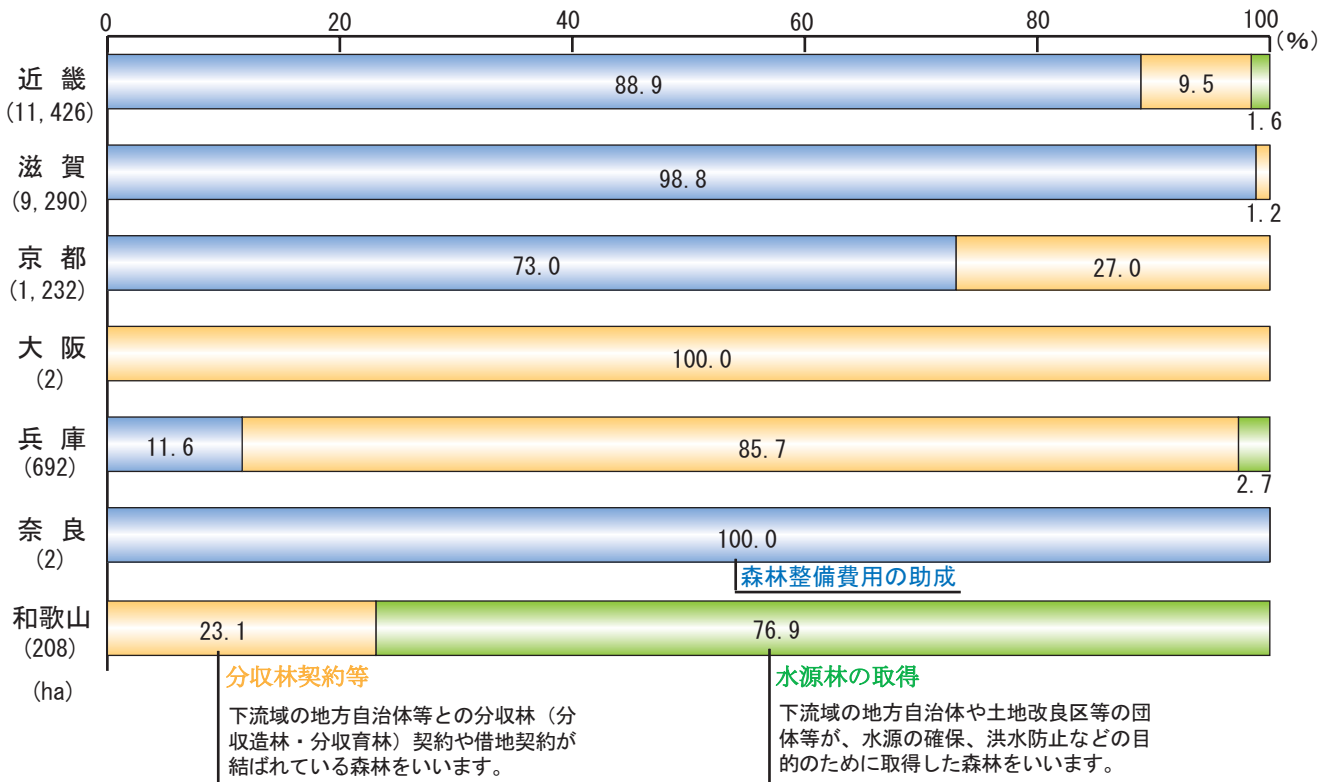
府県別には、滋賀県が9,290haで、全体の81%を占めています。

また、事業別には、森林整備費用の助成が約9割を占めています。

● 上・下流の協力による森林整備面積及び同府県別面積割合 ●



● 府県別上・下流の協力による森林整備面積事業別面積割合 ●



上・下流の協力による森林整備とは?

主に下流域の自治体等が、水源林の維持等を目的として上流域の森林が所在する地方自治体等に対して森林整備費用の助成を行ったり、分収林契約等を行うなどにより整備された森林をいい、調査日現在で継続されているものをいいます。